

令和6年3月定例会 一般質問通告一覧

発言順	通 告 者	質問事項（質問要旨は別紙）	質問の相手
3/21 1番	佐々木直也	「課」の横の連携について	町 長
3/21 2番	中澤 莊也	1 公の施設の管理運営について 2 特定空き家等対策について 3 公共施設等のユニバーサルデザイン化について	町 長
3/21 3番	杉山 広 充	1 教育行政に関して 2 川根高校に関して 3 「義務教育学校」に関して 4 今後の教育環境について	町長・ 教育長
3/22 1番	中 原 緑	大井川鐵道の早期全線復旧について伺う。	町 長
3/22 2番	野口直次	1 令和6年度当初予算編成から見えてくること 2 大鐵の復興復旧に町の取り組みを伺う。	町 長 教育長
3/22 3番	大竹勝子	1 障害者施設への支援補助を 2 大井川鐵道の運休が、長期化している問題について 3 災害対策について	町 長

※ 議員の質問の制限時間は、1回につき30分以内（質問時間のみ）とし、再質問以降は一問一答方式とする。

3月21日

発言順1番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
佐々木直也	1 「課」の横の連携について	(1) 各課の横の連携について、町長からはどのような指示をだしているか。 (2) 今年度の事業で実際に連携をとった事業はどんなものがあるか。 (3) 来年度の事業ではどのように連携を取る予定か。	町長

3月21日

発言順3番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
杉山 広充	1 教育行政に関して	① 現在、本町公営塾において、中学生は通常利用ができていない。委託業者「Birth47」と話し合い、良い方策を模索したのか。伺う。 ② 以前と比較し、川高生、本町の中学生も大幅に減少している。この際、業者と協議をし、希望者全員の受講を達成させ、学習意欲を高めたい。見解を伺う。	教育長
	2 川根高校に関して	① 予想される、来年度の学級編制について伺う。 ② 川根高校留学生の現在の入寮人数と新1年生の入寮希望者数について伺う。 (奥流・南麓寮・よすが苑) ③ 今後の寮の運営について伺う。	町長 教育長
	3 「義務教育学校」に関して	① 各校の「学級編制」について伺う。 ② 各校の教員数を伺う。 ③ 特に、「教科指導」において、どのようなことを配慮していくのか。伺う。	教育長
	4 今後の教育環境について	概ね10年に1度改訂され、文部科学大臣より公示される「学習指導要領」には、重点事項の1つとして「思考力、判断力、表現力等の育成」が明示されている。 学校では、指導要領を踏まえ、「教育課程」を編成し実践していかなくてはならない。 ① この重点事項達成のためには、子供同士の関わりが必須であり、1学級20人程度が望ましいと考える。教育的見解を伺う。 ② 現在の児童数・生徒数、近年の出生数を推察した場合、子供たちのために、10年、20年先を見通したより良い教育環境を整えることが大切と考える。見解を伺う。	町長 教育長

3月22日

発言順1番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中原 緑	大井川鐵道の早期全線復旧について伺う。	<ol style="list-style-type: none">(1) 国、県への働きかけや、議会における意見書の採択などについて、どのように考え、対応していくか伺う。(2) 今や全国はもちろん、世界が注目する大井川鐵道だが、地域における役割についてどのように考えていくべきか伺う。(3) 関係する自治体である島田市、静岡市に対して、具体的にどのように積極的に働きかけていかれるか伺う。(4) 民間グループの全線復旧支援活動に対し、協力や支援をしていくべきと思うがどう対応していくか伺う。(5) 大井川鐵道不通に伴う、経済的損失について、どう考え、対応していくか伺う。(6) 「大井川鐵道本線沿線における公共交通あり方検討会」での検討状況、及び今後の見通しについて伺う。(7) 町民の声を代弁する立場である町は、これまでの検討会において、どのような主張をされてきて、3月末に開かれる検討会において、どのような主張をしていく考えか伺う。	町 長

3月22日

発言順2番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
野口 直次	<p>1 令和6年度当初予算編成から見えてくること</p> <p>2 大鐵の復興復旧に町の取り組みを伺う。</p>	<p>(1) 町内2つの義務教育学校が学校規模の違いの中で、スタートする。特徴ある学校づくり教育方針を伺う。</p> <p>(2) 子育てしやすい町づくりを目指す中で、子供達のどの時期を重点に施策に反映されたのかを伺う。</p> <p>(3) 学校給食費の減額事業の負担軽減の目的を伺う。</p> <p>(4) 少子高齢化が進む中で2025年に向けての、人口減少問題等の長期的な視野の具体的な対策は盛り込まれているかを伺う。</p> <p>(5) 近い将来、生産人口減少が予想される。働く場所・雇用確保・雇用環境等を含め、長期的な対策はされているかを伺う。</p> <p>(6) 農林業従事者も高齢化等で減少が予想される。農業振興及び農村（集落）等の対策事業のうち、モデル的省力化等の事業には盛り込まれているのか、再度伺う。</p> <p>(1) 復興に対する本質的な予算計上が見当たらない、町の考えを再度伺う。</p> <p>(2) 12月議会で有利な起債を利用したい答弁をされた。第3回大鐵あり方検討会には、町が提示できる金額等を示すべきと考えるが、いかがか。</p> <p>(3) 次のステップとして、当町が主体になって、国・県・近隣市町と連携を保ちながら、協議会等設立の音頭を取っていただきたいと考えるが、町長の考えを問う。</p> <p>(4) 現在、町民が展開している大鐵復興復旧運動に、町はもっと理解を示して、早急に町の指導で、今日からでも、協議会を立ち上げてほしい。町長の見解を伺う。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p>

3月22日

発言順3番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
大竹 勝子	1 障害者施設への支援補助を	(1) グループホーム徳山の入居者が増えず、やっと定数の約半分ということで、経営的にも大変な状況だが、どう考えているか。 (2) みどりの丘、みどりの丘えまつについては、最近、十分な作業量が確保できていないと聞く。どのような対策を考えているか。	町 長
	2 大井川鐵道の運休が、長期化している問題について	(1) 町長は大井川鐵道の運行再開への見通しが今もって立たない最も主要な原因は何だと考えているのか。 (2) 町としては早期の運行再開と将来的に安定した運行を確保するために、どのような枠組みで臨むべきだと考えているか。	町 長
	3 災害対策について	(1) 能登半島地震では被災地への道路アクセスなどが寸断されて救援や復旧等に大きな支障を来した。南海トラフ巨大地震などが発生すれば、当町も同様の事態に陥る可能性が高いと考えられる。同震災の教訓を踏まえて、当町の防災対策をどう強化する考えか。 (2) 災害対策に女性の視点をどう取り入れようと考えているか。	町 長